

(特別支援学校版「学力向上実行プラン」様式)

平成28年度 徳島県立池田支援学校「学力向上実行プラン」

池田支援学校長

真鍋 朱実

印

1 学力向上検討委員会構成

学 力 向 上 検 討 委 員		
	職名・校務等担当名	氏名
管理職	校長 教頭 教頭	真鍋朱実 久米康博 多田郁子
学力向上推進員	教諭(教務課長)	秋田晴代
委員	教諭・学部長 教諭(教務課長)	井内満子 秋田晴代

2 学力・学習状況における現状分析, 目標等

【3つの視点】

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- (2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成
- (3) 主体的に学習に取り組む態度の育成

(中 学 部) 生 徒 の 状 況		
よさ	ソーシャルスキルの学習を年20時間実施したことで、生徒が落ち着いて学習できるようになった。高等部及び企業への見学を年3回実施したことから意欲的に進路学習に取り組めた。	課題
		生徒の実態が年々異なるため、自他の理解に関するソーシャルスキルの学習を継続し、働くことの大切さを踏まえた授業や活動を計画する。
具体的目標(目指す子どもの姿)	成果指標	達成状況
①自分の役割を理解して係り活動を行ったり自分のやりたいことを選択し、進んで活動に取り組む。 ②自己肯定感を育成するとともに、自他の理解を深める。	①自分から取り組める係活動を年1つ以上身に付ける。また生徒の意思を尊重した授業を年3回以上実施する。 ②自己肯定感を育成する学習や自他の理解を深める学習を年5時間実施する。	評価
具体的方策(教員の取組)	取組指標	取組状況
①自分の役割や係活動が理解できるよう個々の実態に合わせて説明したり進んで活動できるよう選択内容を工夫する。 ②自己肯定感や自他の理解が深められる内容や授業の取組み、支援方法を考慮する。 * 中間期の見直し	①係活動を行う場面や時間を設定する。自分のやりたいことを選択する場面を設定した授業を行う。 ②全教科・全領域において場面や学習の機会を設定する。	
達成状況を踏まえた改善事項		